

ちよつといし話

～ 今に流れる神・佛 ～

機会を得て出雲大社へ参拝しました。山陰の地に出向く機会も少なく貴重な時間を過ごす事が出来ました。境内地にあるモニュメントの石にはめこまれたプレートには「幸魂（さきみたま）奇魂（くしみたま）」の説明が記してありました。次のとおりです、「時に海を照らして依り来る神あり、吾在るに由りての故に汝その國造りの大業を建つるを得たり、吾は汝が幸魂奇魂なり。大国主神これ吾が幸魂奇魂なりけりと知りぬ。およそ人が人であるということは幸魂奇魂というムスビのみたまを我が身にいただいて霊止すなわち人として生かされているからであります。大神からいただいたこのいのちを感謝して大切に正しくこれを生かしきりましょう。」と書いてありました。幸御魂とは人を守り幸福を与える神霊であり、奇御魂とは神秘的な力をもつ神霊です。神話の建国時代から現代までその信仰は続き大勢の方々が参拝されてます。

4月はお地藏様の縁日大祭が行われます。六道解脱と閻魔大王様の御印が頂けます。人間は死ぬ爲に生まれ、そして又、生まれる爲に死ぬのです。この事を輪廻転生と言います。最後には輪廻から解脱して往生し苦の無い世界、極楽へ落ち着く事が出来れば目的の終了となります。願望成就の爲に一人でも多くの皆様に参加して頂き蓮（はちす）の縁を結んでほしいものです。

善入院油掛地藏尊